に堵列の日補顧官ならびに在郷軍人、學生並新京における在補部隊に對し襲官傳道を了る

の政民國最等にいた。

廣田内閣に

は廿日論説欄に於て廣田内閣が、汪精衛氏機関紙中華日報

田侍從武官

長から稲任官以上を一へ紹介した上、結城線務處養から約 三十分間に亘つて國都建設の 権要を説例し、終つて最上で 提盟し再び正應に少額、同二 勝五十分再び高等官一何の見

激して宮中の諸行事も行は対られる 高なき御乗馬の外は御たのしみ をあるなと我々伽変馬の外は御たのしみ であるなと我々伽近者は大 であるなと我々伽近者は大 であるなと我々伽近者は大 であるなと我々伽近者は大 であるなと我々伽近者は大 であるなと我々伽近者は大 であるなと我々伽近者は大

スカルノ会議の協定案は代表フカルノ会議の協定案は代表フカルノ会議の協定案は代表フカルカン、右報告を接受しヒトラー總統は直ちに首脳を招致を強要した、新協定案に對しドイッ政府が如何なる態度に出るかは全く判明し

を以て充分と情ずるからド を以て充分と信ずるから下 を以て充分と信ずるから下 を以て充分と信ずるからない を以て充分と信ずるがはない を以て充分と信ずるがはない を以て充分と信ずるがはない を以て充分と信ずるがはない を収するまずのの を収するまずは を収するまずるがはない を収するまずるがはない を収するまずるがはない を収するまずるがはない を収するまずるがはない を収するまずるがはない を収するまずるがはない を収するがのとに を収するがのとに を収する。 をして、 をして をして、 をして

名他は一

御日常に對し率り左の如く諸天梟陛下の波殿令施行以來の

陸軍の重要人事を内奏

井上洋服店

新舊軍司令官

御差

虚帝陛下には二十八日朝鮮経 由着任する植田隅東軍司令官 に對し金侍從武官を安東まで 又献みたる武勳を建して廿九 日唯稿する南前軍司令官に對

しげのさんが動八祭瑞寶章

0

御召服

H 內閣 對 積極

野米外交調整の爲

太平洋問題調査年次大會を機に

一夏特派使節を派遣

者の第一流を網維しアメリカの東亜問題に對する日米依存時係 に就き適當なる刺戟を米國官 民の間に與へんとするもので あつて各方面から多大の住目 胸を決し目下これが法側化を「検討して税種の際合を行ふと「鴫には従来不常課税、貰々なを重ねてゐたが、此程その要「改正要綱は課税物件の性質を「んとするものであつて實施のでは過段來財政部に於て研究」を見る豫定である し交通税の本質に適合せしめ 印花税(印紙税)の改正に就「急いでゐるので近く公布實施」ともに各省區々の稅率を統一

新協定案に對する

省に轉じ上海に三年間駐在時の一条に轉じ上海に三年間上在時の一次正八年本業警視廳に入りついで兵庫縣外事課長から外務ので兵庫縣外事課長から外務の一条に同氏は大阪府に生れ天王

政府意

(東京國通) 満洲、上海兩事 一般部外論功行賞は廿日 一般の一般部外論功行賞は廿日 一般の一般部外論功行賞は廿日 一般の一般部外論功行賞は廿日 一名で(内、独勝

に多大の不利不便を感じ

論功行

張總理を訪問、離任の挨拶 解任の挨拶 大將はサー日午前十時半國務 投を述べるところあつた 投を述べるところあつた がを述べるところあつた 行賞の御沙汰

本中野琥海氏(吉林總務廳長) 同吉林へ ・ 高崎橋一氏(航政局員) 二十日午後安東へ 十日午後安東へ 十日午後安東へ 十日午後安東へ 十日午後安東へ 大地清行氏(映畵配給薬) 同大連へ 「大地主計氏(大連電菜)同

概みをきかねばならなかつた せるが、弊、お前はその人の

レベルを引揚げてやる考へである。自分は大巫八年から現在まで襲撃川で育つてなるので民衆と響楽については充分理解してゐるつもりだ、今後も一生騒命でやりだ、今後も一生騒命でやりだ、今後も一生騒命でや

はそれを快歌した」 ここをあなたに頼んだのです からした病気にか その人はごういふ

間でして生れて來たこさが人間にこつて大きい不幸だつた おしは全く、この世の中に人から極狭密の懺悔をきいて、から極狭密の懺悔をきいて、 いつてゐては、お前には何ん

州茂朋を出すご、もうあごには自分の生活を差支ないほごしか残らないが、昔の友誼にたいして君の窮地を数はう、たいして君の窮地を数はう、たいして君の窮地を数はう、その代も、かうした病気にかって齢者になるという。 数任は相手を献して、 なさい』 る。しかし、自分の手から今みの卅萬はすぐに御用立をす 『共人のいふこざは、お申込

方は父が何をい

歌に耽つてゐたが、 は不安に胸を躍らせてきいた。

進上級) 伊

あ 3 九之即

父の口調があまりに苦痛に

反物を見て御定め

下さい店内に新着品

柄の御選定は是非

やはり罪人の子供さして後指 をへてはくれない。お前連は を て、他人より に響きされなけ ならば、わしは世間に離向け のならない罪人になり、お前 連は一生涯日盛のものになっ を ができなかった ばならぬざ思ったのちやまでなられた考へるさ、わしは先方 一家のためにその人のたのみで質は驚へた。 信じてゐます……」 策からではあるが、世間ではや、それもみんな、わしの失 それを考へるさ、わしは先か 『勿論です、私はお父さまをねばならないぞ』 わしの心特をよく楽してくれ ればならないこだになるのち お父さまのお心はよく それもみんな。 さするのか、何んのために汗 である故郷の人々から絶縁し である故郷の人々から絶縁してある故郷の人々から絶古りない。 である故郷の人々から絶縁している。 なが彼の家筋を知って、 はないない。 子孫には要目を見せないつも では、自分一代 では、自分一代 では、自分一代 では、自分一代 では、自分一代 では、自分一代 ある悪い病気があつたのちやった言葉をついけた。 ちてゐた……』 しばらく沈默した。が う類々に自分の全教に纏つかった。呪はしい病策は、かった。呪はしい病策は、 その粗筋を話 つたのもそ らかすまり居てし致も約豫の 店弊は命用御非是

長を勤め一昨年 《張瓜氏(探金會社理事長)《張瓜氏(探金會社員)同《吳田士郎氏(探金會社員)同《吳田士郎氏(孫錄》同《吳田士郎氏(孫錄》同 見玉梨解氏(本天商職理事) 同率天へ 同率天へ 「関事」同大連へ 大神淳氏(含社員)同ハル 大村淳氏(含社員)同ハル 馬楊利秀氏(滿鐵)同辻茂樹氏(滿鐵)同 連修氏〈首都際祭副總監〉同角田耕氏〈滿鐵囑託〉同 竹門種郎氏(咸鏡北道知事)

鑛發會社

主總會終了 回定時

前田、島田の各相は會合して特ち廣田首相及川崎、瀬田木棚田本村の病気全快を

つたので**政黨関係関係**はそれ

和 第二次我們整理の最後を寫す

第一 英佛白三國軍の参謀本第一 英佛白三國軍の参謀本

香港警備演習に對する

ら 持 西 分 教 京

教せられ更に衰弱を加へ 人幣は今朝來依然重態を 公實總監都發表

の如く洩らしたの如く洩らした

第二 英伊兩國軍小部隊はマデノ要塞線の前面ドイツ領デノ要塞線の前面ドイツ領を撤兵し非武装地帯を設置を撤兵し非武装地帯を設置を撤兵し非武装地帯を設置を撤兵し非武装地帯を設置を持ちる。

【パリ十九日酸園通】フ

本吉田源三氏(會社員)同大連へ 本古田源三氏(會社員)同大連へ 本本庄庸三氏(大岡酒糟別社 長)同ハルピンへ 本本庄庸三氏(大岡酒糟別社 長)同ハルピンへ 本本庄庸三氏(大岡酒糟別社 長)同内地より 長)同内地より 長)同内地より 長)同内地より 長)同内地より

ンドン電は廿日より行はれる一持つものでないと懇關して左【上海廿日韓國通】當地膏ロ一香湘警備演習は特殊な意識を

都

相應

明朗文化

の警察を

昨夜着任した連首都警察副練

抱負を語った

から御諒承下さいにより二十二日朝刊は休刊致します

科曼の出細へを受け非公式に

新京日日新聞社

一郎氏(電祭社員) 氏(補鐵社員)同率

電正一氏 (朝鮮銀) 二十一 で正一氏 (朝鮮銀) 二十一

(三十九)



俄系エミグラント達はくけら

新京事務局正式發會式を見る

南嶺記念碑の

てるるが、エミグラントれらは一口に白茶電人と

春も迫る西公園 突如爭鬪

かり公園の愛嬌者熊公や、應、お猿さん達は日當りよい小石の脇で日向ばつこに毎日を樂しんでゐたが突如こゝに 夢の陽ざしに西公園の花園も步道もふんはり膨み、温い空氣を漂はして図郡人をまねいてゐる、善等の春來るとば

・ とゝもに割りまった。 で際何じく千鳥町一丁目七番 に際何じく千鳥町一丁目七番 に際何じく千鳥町一丁目七番 新京犬猫病院で診察すること
狂犬の関れあるので二十一日 したが選にそのかひなく十八

人は新京特別市黒鶴特二百五三ッ折財布を届け出た、この

上中をあらためて見ると現金 上中をあらためて見ると現金 上中をあらためて見ると現金 大つてるたがそうしたうちに

放しておけば野犬と看做す

絶好のお彼岸日和に

お寺へ!公園

でく捕へて犬は迫ひ出したが、「才最近解放して遠込むものが 頭にも軽傷を負はせた、公 西公園ではかねて図内で犬の

春季皇靈祭遙拜式

一同着席修蔵植田神官系一しく選弄の祝辭奏上、一

財布を拾はる

怒善演藝大會

來る四月三、四兩夜公會堂で

一十錢前賣券一面

梅ケ枝京圖寮で

た坊ちやん簾ちやんの家族連からパパ、ママに手を引かれ タくと指一なり、プログラムも小貝、朝から登詣。た錚々の劇鯛れ五十余名か英麗鎭まり、日滿花梅の綺麗ところを選

・周年記念日満 況が豫極れてゐる、演藝會開京記念公會堂 豊富な色彩を加べたもので感染る四月三日 職、潜元、新劇、歌舞伎其仙

日滿花街の後援で

忠霊塔参詣人ひきもき

本学に訴へ出たので武智巡査が手に訴へ出たので武智巡査が手に訴へ出たので武智巡査が手た、右は本籍朝鮮慶尙北道襲た、右は本籍朝鮮慶尙北道襲がた、右は本籍朝鮮慶尙北道襲份、州郡艦城面長局洞、住所新京へ州郡艦城面長局洞、住所新京へ州郡艦城面長局洞、住所新京へ州郡艦城面長局洞、住所新京へ州郡艦城面長局洞、住所新京へ州郡艦城市以下、後で領づいて其目歸詰所



に物港御 ・に用庭家御

ら同九時までの間留守中に机一数とは關係なきものであつた 永新一氏は廿日午後七時半か 時に祭墳をも撤去し全く大本東三條通り梅ケ枝京岡寮内吉 末以來大本数を完全に離退同 方ワシントンホトマック公園 お棚大木魔におかされ名物大 も漸次木魔におかされ名物大

式は始められた、支部ンだ、満洲関係歌の奏ンだ、満洲関係歌の奏

来製山市に轉地販養中の盧胸郎氏骸父多右衛門氏は昨秋以日本橋通伊陽商店主伊陽庄太 伊關多右衛門氏 明日商業學校で 一十二日午前九時から商業

五時四十分)

售である

廿三日より

春季清潔週間

有之候間此段謹告仕候也
「一切」關係ヲ絕チ今日ニ至リタルモノニテ該記事ハ全ク事賞無根ニテ一切」關係ヲ絕チ今日ニ至リタルモノニテ該記事ハ全ク事賞無根ニモ小生ハ一昨年大本教ヲ脫退シ直ニ祭壇ヲ撤去スル他合法的手續ヲ以ブ」ナル記事中小生ガ大本教ニ關係アルガ如ク思ハシムル記事有之候謹啓新京日日新聞本年三月十八日朝刊ニ「大本教撲滅ノ手新京ニモ及謹啓新京日日新聞本年三月十八日朝刊ニ「大本教撲滅ノ手新京ニモ及

擴光して陸背の向上に費する

馬術部遠乘り會

新京特別市公署では春季の停 築病流行期に入るに伴ひ防疫 茨法の第一手段として来る二 十三日より四月四日迄十二日 間に宜り本年度春季清潔法並 に清潔週間を施行する事となったが、本年は特に首都警察 となった、尚この期間に清潔 となった、尚この期間に清潔 となった、尚この期間に清潔 となった。尚この期間に清潔 となった。尚この期間に清潔

新京日本橋通三十七番地

日の出を拜す集二十二日(日曜日)午前五時二十二日(日曜日)午前五時 日の日曜日を利用して御月潭日の日曜日を利用して御月潭 方面に遠樂を行ふ模様である

会として八島小學校父兄會へ会として八島小學校父兄會へ会として八島小學校父兄會へ △天勝公演畫夜二回

同があれば南新京附
中間があれば南新京附
中部盟馬橋部では二十
○二十二日午前十時か
一様家園太郎
○一続の主なる演響放送:
○一続の主なる演響など:
○一続の主なる演绎など:
○一続の主なる演绎など:
○一続の主なる演绎など:
○一続の主なる演绎など:
○一続の主なる演绎など:
○一続の主なる演绎など:
○一続の主なる演绎など:
○一続の主なる演绎など:
○一続の主なる演绎など:
○一統書を表しまするなど:
○一統書を表しまするなど:

隔月發行

であるが今後は指導欄を更には四月十五日頃出版する確定は四月十五日頃出版する確定は四月十五日頃出版する確定

濱田豊樹氏は

大本教ご全く無關係

けふトップ 國都建設視祭團

は小山、長野、三浦三教論引は小山、長野、三浦三教論引は小山、長野、三浦三教論引を訪問し、同局屋上から國都を訪問し、同局屋上から國都を設けた、國都建設局では視察取した、國都建設局では視察

米國東部諸州の

マッシントン廿四日登園通」 東部諸州を襲つた大洪水は其 の後益々擴大し今や浸水地域 は十一州に及び、廿日午前八 時現在死者は少くとも百五十 三名に達し住むに家なき渚無 間二十萬人に建し損害は二億 二千五百弗と推定される、ル 死者百五十三

一日午後一 開場(用曜祭日は必ず書間)

下宿御案內

福旅館

一、本人來談

二十二時より午後二時まで> 大學校卒業程度 を関係書に集員一業素へ 事 一十二日(日曜日)

二菱簡事株式**會**社

八聲四半(應數間) 羽衣町四丁四

六型、二間別に十畳の離間あり

女子事務員募集

- する 業 程 度 (簿記、珠算に程) 日本橋縛り七六

突馬路目

伊東忠商事株式會社 新京出張所

機関の北大街(大馬路目 技・ノ場所) 店舗又へ事務所向、間 口六間、約五〇年 日本間、約五〇年 日本間、約五〇年 日本選系量三室 一、大馬路目 一、大馬路目 日本の一、大馬路目 日本の一、大馬路目 日本の一、大馬路目 日本の一、大馬路目 日本の一、大馬路目

電話(2)三〇八五番へ



a 職職第水寮二二九號室内山磯 た』と一臂年が青くなつて居 た』と一臂年が青くなつて居 ると果してとの青年のもので ると果してとの青年のもので

萬年筆などを誰かに恣まれた

新アナさん

配屬決定

てゐる「淅洲體育」は先殺創滿州國體育聯盟で編輯發行し 程を終了し、先日其の配屬がサー五名は、態々購習の全課サー五名は、態々購習の全課 設表それぞれ就任した 哈同新率大 爾 京天連

貸

間場數所

御望の方は

電③三九〇〇番へ

十六日開業致しました皆樣御待望の日之出湯三月 何卒御愛浴の程御願ひ申し

税町三丁目 青陽ビル内 管業時間 至午後十一時

援房便所其の他完備 脂附八、八、別に別個職貨間地下鐵日當り良し八、 級貨

高

錦町四丁目一七ノニ 貸

其 間

御希望の方は



●三碧の人 有利の日なれど

●二黒の人 目上に順服すれ

散りもせず(本調子)

春雨に相合傘の濡れたどしい つか女夫をまつの花、わたし が船にのりがきて、ふかみへ

な首尾して

五八票「施業競更俱楽部」
五八票「高傑ペンチョ」
四六票「奇傑ペンチョ」



サー日の夜は新京倉館へ春季皇靈祭の催し除 興──数 番 ニナニ日(午後一時半より) ニナニ日(午後一時半より)

や大少ニ不拘電話ヲオカケ下サイマハ大少ニ不拘電話ヲオカケ下サイマハ大少ニ不拘電話ヲオカケ下サイマ 衛生工事

ぬ塵づたい、梅をば楽てゝこ浮氣鶯一二三、まだ住みなれ 春 手…桐 盛 房千代三架線…田 村 てる蝶 浮氣鶯(本調子) 【後二時】 お書を飾 粹な小唄集

お馴染綺麗ところの出演・ **賃もある揚鴉が思ひそめたる** 替手………… 房千代三味線………… 美香 八重一重(三下り)

ファンの投票による と心にとめてわすられぬ □ てさゝやく歴や舌の船 ▼ できょやく とたょく 水鶏にさそはれ

まゝになるならあのひと遠れ 薬ざくら(三下り) ま」になるなら

あさざくら春と云ふのもこ、散りもせず咲きものこさず。

ふりかけられたい忘れ草

すの番 一一・五〇 郷土劇の午後

ラデオ物語「林中の小屋」 場方楊楊 六五 画丈郎 耶

官幣中社 (長江より)出線大社神代 神樂 加 「春は朗か」 加 「春は朗か」 場) 大和家小賽架 (大阪より) 大阪に輸加 (岩吉内の 株子 岩薬會連中 九、〇〇唱劇訓(京城)九、〇〇唱劇訓(京城) 八四〇二二十 今非慶縣 会 → 排
会 → 排
会 → 排
会 → 排
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 →
会 → <

の指ケ校科 英他一品料理 意 三樂園

帝都キネマ廿四日より上映

交の殿堂劇

尝

楽園

て加なるに應募者が非常に多かつた事嬉しく存ましたが何としてもパッル全盛の往時が偲ばれ第一回の試みとして少々混入り過ぎた感もあり 世界略交通會社 中村小文郎殿 世界略陸軍官舎 原口正判座機 原口正判座機 正田房惠服、北崎利一駅 等正解で此の 間違ひが大變等正解で此の 間違ひが大變

優待 懸賞選 惑 發表

不高回

家間三家間二家間一敷設場 京賃取了賃取了賃取平金備所 溫水式媛房、水洗式便所、浴槽、塵箱等 新發屯清和街 ケ月分

六十五圓 五十五圓 三學、四學半、大學、大 下、四墨半、六墨、三墨 四人學 前家賃 (八昼· 六叠

東亞與業株式會社新京出張所特別市淸和街一〇一號

集募生學

明治自動志 三二ヶ月本人 五五 圓名名 た

他に男女服生地全部揃つて居りは賣出品種に應じ一割乃至四割 は賣出品種に應じ一割乃至四割 がします。 ポース スプリングコート 別大賣出 應じ一割乃至四割地全部揃つて居り

の割引を地 六六六六 五〇四五 〇〇〇〇

值下斷行!!

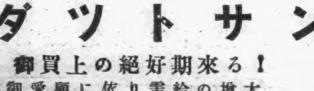


事務の能率増進には 時代の寵兒ダツトサンを!

新京大馬路西六馬路

清水貿易株式會社都京出張所 同サービス部

電話图(2)二九五一香





商賣業昌には先づ ダツトサントラツクを

長 運轉資格……オート三輪車に同じ 費……絕對的僅少です

何卒倍額の御引立を!

ラック……酷寒風雨にも二人乘座 席で樂に運轉が出來ます * 速度・出力・安全・乘心地・登坂能力・ 積載量の總でに於て最高級の小型 車です

* * * 上 群 貨部 間

多少 煉 に不拘御用命の程を 瓦 製造販賣 業合 話③養量會社

黑



曲